

2020年度 事業報告書

2020年4月 1日から

2021年3月31日まで

学校法人 大阪聖心学院

1. 法人の概要

名 称 学校法人 大阪聖心学院（昭和30年12月16日法人設立）

代表者 理事長 小林 都代

住 所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号

電 話 072-336-9981

FAX 072-337-1021

設置する学校及び保育所

住 所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号

名 称 星の光幼稚園

住 所 大阪市旭区新森3丁目3番35号

名 称 新森幼稚園

住 所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号

名 称 カンガルールーム

役 員

理 事 5名 任期 平成29年8月26日～令和3年8月25日

小林 都代 小林 榮子、船木 克容 高井利純、水野 貴久男

監事名 任期 平成29年8月26日～令和3年8月25日

任期 平成29年8月26日～令和3年8月25日

田中 哲夫

山崎 陽三

評議員 11名 任期 平成29年8月26日～令和3年8月25日

小林都代 （第23条第1項第1号）

水野貴久男（第23条第1項第2号）

森田喜治 （第23条第1項第3号）

船木克容、高井利純、鈴木健夫、四宮慎七、小林榮子、中野和代、四氏雅子（寄附行為第23条第1項第4号）

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 62名（星の光幼稚園）

31名（新森幼稚園）

8名（カンガルールーム）

2. 事業の概要

（ 星の光幼稚園 ）

《教育方針》

物事を自ら考え創意工夫する力、心身のバランス、やさしい心を柱とする。

《教育内容》

年齢、発達に応じた偏りのないバランスのとれた保育内容で、園庭で元気に遊び、お部屋の中では絵本を読んだり、製作をしたり、椅子にもしっか座って保育します。年少組から全員ギルフォード式の英才教育を行い実績を上げています。遊びの中で楽しく学んでいく保育です。

お茶、お花、そろばん、パソコン、書道、剣道、外国語、絵画、鼓笛隊、器楽合奏、日本太鼓（一部有料）などの保育時間内に特別活動を実施

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			9	190	6	200	6	200	21	590
2019年度	2	65	7	146	6	161	6	176	21	548
2020年度	3	80	7	146	5	156	5	163	20	545
2021年度	3	90	7	151	5	157	5	155	20	553

《保育時間》

月～金曜日 午前9時30分～午後2時30分

《納付金》

保育料（3歳児） 年額428,400円（無償化分含む）

（4・5歳児）年額380,400円（無償化分含む）

《入園時の費用》

入園料（3歳児） 65,000円

（4・5歳児） 55,000円

入園検定料 2,000円

《早朝保育》

午前8時30分から実施

《預かり保育》

月～金曜日 午後2時～午後4時30分

夏期休業中を実施予定 午前9時30分～午後3時30分

《行事予定》

春の遠足、日曜参観、青空遊び、プール、お泊り保育、音楽会、盆踊り、敬老参観、秋の遠足、運動会、お店屋さんごっこ、社会見学、お遊戯会、クリスマス会、おもちつき、展覧会、消防クラブパレード

《施設関係》（園地面積 8,295㎡、運動場面積 3,481.2㎡）

カーポート移設工事、日よけ増設工事、新幹線レール増設工事等を実施。

《設備関係》

プロジェクター、園バス入替。遊具テントカバー、プラグアンドプレイエミュレータ等を取得。

（ 新森幼稚園 ）

《教育方針》

明るく健康で心身共たくましく、自主的にかつ創意工夫する、人間味豊かな人間像を目指す。

《教育内容》

年齢、発達に応じた偏りのないバランスのとれた保育内容で、毎日いろいろな経験を

重ねながら、一人ひとりの個性を大切に育てる。

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			2	70	3	105	3	105	8	280
2019年度			3	94	3	102	3	95	9	291
2020年度			3	80	3	93	3	101	9	274
2021年度	3	15	3	66	3	79	3	96	12	256

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時30分

《納付金》

保育料（3歳児） 年額372,000円（無償化分含む）

（4・5歳児）年額338,400円（無償化分含む）

《入園時の費用》

入園料（3歳児） 60,000円

（4・5歳児） 55,000円

入園検定料 3,000円

《預かり保育》

月～金曜日 保育終了後～午後5時30分

《行事予定》

春の親子遠足、日曜参観日、社会見学、お泊り保育、盆踊り大会、夏祭り（お店屋さんごっこ）、敬老会、運動会、秋の遠足（おいも堀・みかん狩り）、発表会、おもちつき大会、クリスマス会、かるた大会、凧あげ大会、展覧会

《施設関係》（園地面積 1,337㎡、運動場面積 812㎡）

アスレチック特注、ママゴトセット園庭砂場設置用、鉄棒等取得。保護手摺設置。

《設備関係》

パソコン2台紙、折り機、輪転機コピー機等取得。防犯カメラ、警報装置設置。

《事業報告》

2020年度の事業は、新型コロナウイルスの影響があったものの、保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に事業を運営することができた。

新型コロナウイルス発生から1年経過したが、国産ワクチン開発ができず、感染を改善する製薬も出来ないまま、いたずらに時間が経過した。

2020年4月7日、緊急事態宣言が発出され、5月6日まで感染抑制のため、学校の臨時休業が要請された。その後、医療機関が崩壊しないよう、感染数の推移から、休業期限が5月末までに延長された。

2021年に入り第2回目の緊急事態宣言が2021年1月13日から2月28日まで発出され、その後、蔓延防止等重点措置が4月5日に出されたが、感染力の強い変異株のため、第3回目の緊急事態宣言が4月25日から5月11日まで発出され、その後、6月20日までに延長された。

そして、経済状況は、飲食業・鉄道業・航空業・旅行業等のサービス業での悪化が深刻で、映画・演劇・コンサートの開催が大幅に制約を受け、文化活動は壊滅的な状況になっている。このような、コロナ禍の影響で、保護者の就労先も少なくなり、預かり保育も無償化の範囲を超えての利用は減少傾向になった。

学校への休業要請は第1回目のみであったが、当園では、新型コロナウイルスの感染対策を行い、園全体の安全を確保しながら、運営を行ってきた。

2015年から子ども子育て支援新制度が始まり、2021年度時点では、6割近い園が新制度に移行し、184園が私学助成で事業の継続をしている。

また、2019年10月より幼児教育の無償化が実施されたが、2020年の出生数が戦後最小の86万4千人になり、新型コロナウイルスの影響から、2021年84万8千人、2022年79万2千人の試算があり、収入構造の根幹をなす園児数の確保に赤信号がともってしまった。

については、未就園児クラスの充実及び満3歳児入園者の獲得が、将来の園の存亡に大きく影響を及ぼすことになっているため、園児募集の方法についても、口コミも重要な手段であるが、ホームページやスマートフォンへの対応の充実を図ることも重要となってきた。また、園に興味のある人の囲い込みを進めるためにも、メール配信等情報発信による持続的なアプローチの実行の検討もしていくこととする。

採用状況は、依然厳しい状況が続いており、養成校の定員が大幅に割れ、養成校自体が存亡の危機を迎えていることから、独自の教職員確保を考えなければならない。

以上のことを踏まえ、当園としては、事業継続を諮るため、地域の乳幼児数の推移及び独自の教職員採用計画を検討し、5年後の事業予想（中期事業計画）を作成、整備する。合わせて、監督官庁の調査に、しっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努める。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。

財務面では、事業活動収支計算書より、星の光幼稚園では、教育活動収入計が340,695千円（対前年比▲2.06%、347,848円）、教育活動支出計350,810千円（対前年比▲12.77%、402,190千円）、教育活動収支差額▲10,115千円（前年度、▲54,342千円）、経常収支差額比率▲2.97%（前年度▲15.62%）となり、経営状況はやや改善した。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、54.05%（前年度59.78%）となり、前年度より低下した。

新森幼稚園では、教育活動収入計が193,710千円（対前年比13.33%UP、170,926千円）、教育活動支出計173,682千円（対前年比▲42.52%、302,138千円）、教育活動収支差額20,027千円（前年度▲131,211千円）、経常収支差額比率8.79%（前年度▲77.09%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、47.98%（前年度51.25%）となり、前年度より低下した。

カンガールームでは、教育活動収入計が41,697千円、教育活動支出計54,

135千円、教育活動収支差額▲12,438千円、経常収支差額比率▲30.46%となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、77.45%となった。

学園全体では、経常収支差額▲7,485千円（前年度▲192,976千円）、経常収支差額比率▲1.28%（前年度▲35.81%）となり、経営状況となった。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）を有しているため、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況